

岡崎嘉平太記念館



Vol. 28

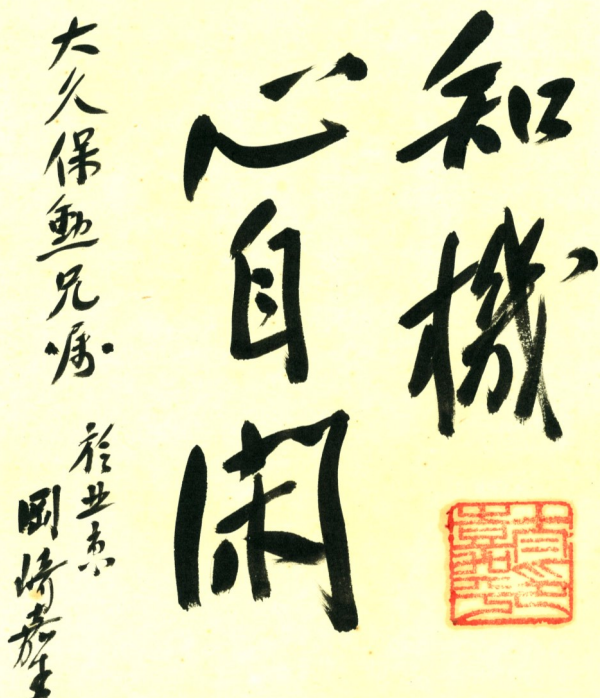
だより

岡崎嘉平太氏遺墨

「知機心自閑」

(機を知れば心おのずから閑)

〈大久保 勲氏寄贈〉



岡崎氏が発案し日中国交正常化への道筋をつけたことで知られる日中書貿易の駐北京事務所勤務し、岡崎氏の下で、国交正常化前後の日中書貿易に従事された大久保 勲氏に岡崎氏が贈った書。大久保氏によると昭和四十七年(一九七二)頃に岡崎氏が北京事務所を訪れた際に揮毫してもらったそうです。これは岡崎氏が座右の銘にし、よく用いていた言葉で「いちばん大事なことを知れば、非常に複雑な事件に対しても心はのどかだ」という意。

ものごとの本質の把握(岡崎嘉平太氏著書より)

人生を送っていくために大切なことはたくさんある。その中で何がいちばん大切な一つだけあげよといわれたら、私はちゅうちょすることなく「物事の本質をつかむこと」といえば、現在自分が当面し解決が迫られている問題の本質は何かを見わけること」だと答えたい。本質を早くつかまえると、問題の解決が案外楽であるし、その問題がたとえ困難なことでも自分の心に余裕がでてくる。

中国に「知機心自閑」(機を知れば心おのずから閑)という言葉がある。いちばん大事なことを知れば、非常に複雑な事件に対しても心はのどかだ、という意味であるが、なかなか含蓄が深い。たいていの人はそのような経験があるのではないかと思ふ。

―出典 岡崎嘉平太著『私の記録』(一九七九(昭和五四)年)発行

本質をつかんで守り抜く(岡崎嘉平太氏著書より)

…本質は何かということをつかんでおれば、その本質を傷つけないことができます。―中略―その一つを守りぬくということが、われわれの人生を純なものにするのです。

純なるものを得、これを守りえたという喜びくらい楽しいものではありません。…若いみなさんが、若い元氣を持つている間にそういうものを見つけて、それを守っていく勇氣を是非持つていただきたい。―中略―そこに自分をもっていくためには、ほかのことなんか問題にならないほどのもの、そこに行ったら過去の自分の行動など、何とつまらないことだったかという氣がするような境地なのです。苦勞を重ねなければそういう境地は得られないかもしれませんが、そういう境地があるのだということを知っておいていただきたいと思ひます。そうすればいかはそに行き着けるでしょう。ぜひつかはそにたどりつくのだという氣持をお持ちになつて努力を重ねていただきたいものです。そういう人がほんとうにりっぱな人生を送られる方だと思ひます。

―出典 岡崎嘉平太著『わが道』(一九六六(昭和四一)年)発行

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第16回講演会の開催

平成29年11月26日(日)、吉備高原リゾートホテル大ホールにて「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第16回講演会」を開催しました。この度は「岡崎訪中団」の一員として中国へ同行されるなど公私に渡り岡崎氏と親交の深かった自由民主党衆議院議員の逢沢一郎氏と、岡崎氏が発案し日中国交正常化への道筋をつけたことで知られる日中覚書貿易の北京事務所に勤務され、岡崎氏の薫陶を受けてこられた福山大学名誉教授の大久保 勲氏のお二方を講師としてお迎えしました。



逢沢氏(写真右)は「世界の平和と繁栄に貢献する日中をつくろうー岡崎嘉平太先生との思い出ー」と題して講演され、昭和58年夏に岡崎氏や当時高校生だった伊原木岡山県知事等と中国を訪れた際のお話や、日中共同世論調査資料を基にお互いの国民感情を紹介し、将来の日中関係の展望や希望を語って下さいました。



また大久保氏(写真左)は「日中国交正常化45周年に寄せてー岡崎嘉平太先生に学んだことー」と題して講演され、岡崎氏の下で働いていた頃のエピソードとして、日中国交正常化前後に北京に赴任する際に岡崎氏から「中国を見ること、知ることを仕事の第一と考えよ」「絶対に中国人を蔑視してはいけない」「絶対に信用を失うような行為をしてはいけない」等助言されたことや、国交正常化後も中国と関わる仕事を続けられたご経験等を語って下さいました。

当日は県内外から140名の参会者があり、身近に岡崎氏と接してこられたお二人のお話に聞き入っておられました。講演の記録は冊子にまとめ後日発刊いたします。

秋の特別企画展

「岡崎嘉平太と日中友好にかけた人々 ー受け継がれる信と愛」の開催

平成29年9月22日(金)～12月27日(水)



岡崎氏と周恩来総理
(昭和三十七年頃)

本年は日中国交正常化45周年という節目の年にあたることから、改めて岡崎氏の日中友好にかけた人生の軌跡をたどりしました。

学生時代にさかのぼる中国人留学生との交友を学生時代の写真や留学生から贈られた書等から紹介し、戦後日中国交正常化に向けて尽力した姿を、同じ思いで国交正常化に取り組んだ松村謙三氏や日中覚書貿易の中心人物と共に紹介、また国交正常化後も変わらず日中友好に邁進した姿や岡崎氏の逝去後も受け継がれる氏の思い等も紹介しました。また、日中覚書貿易に関わってこられた、井上宣時氏、大久保勲氏、嶋倉民生氏、平公明氏、宮下春男氏に当時の岡崎氏との思い出や日中国交正常化前後のご自身の貴重なご経験を手記としてお寄せいただき、あわせて展示しました。また新寄贈品紹介として、岡崎氏の自筆原稿や遺墨も展示しました。

「覚友会」に当館館長が参加

日中覚書貿易に関わってこられた方々が中心となって毎年「覚友会」を開催されています。岡崎嘉平太記念館の職員も一昨年から参加させていただいており、今年で3回目となりました。この度特別企画展に手記をお寄せ下さった方々もご参会されています。毎回、岡崎氏との思い出や当時の中国の様子、また現在の日中関係等多岐にわたる大変興味深い内容で、大変勉強させていただいております。



参会者の皆さん 前列左より嶋倉民生氏、井上宣時氏、安田佳三氏、勝野館長、羽石修三氏、後列左より長畑収氏、大久保勲氏、相知美和子氏、平公明氏、井上尚弘氏、宮下春男氏

岡崎ゆみ氏のコンサート&トークショーの開催



左写真:吉備中央町ロマン高原かよう総合会館でのコンサート会場と大橋洋治ANAホールディングス相談役から贈られたお花

上写真:吉備高原リゾートホテルでのトークショーにて

岡崎氏生誕120周年を記念して、11月5日(日)に地元吉備中央町と共催の吉備高原音楽祭2017で岡崎氏の孫でもあるピアニストの岡崎ゆみ氏を招聘しコンサートを開催しました。また翌日の6日(月)には岡崎嘉平太記念館主催でトークショーを開催しました。岡崎ゆみ氏は長年妊婦や小さな子ども向けにトークを交えたコンサートを開催し人気を博してこられました。当日もゆみ氏の魅力溢れるトークと素晴らしい演奏に、来場者の赤ちゃんから大人まで皆さん聴き入っておられました。

中国・大連市副市長来館



写真右より3人目勝野館長、その左廬林副市長、その左朱金諾全日空マーケティング室常任理事

平成29年7月14日(金)に大連副市長一行が来館されました。同日



に岡山市で「第20回北前船寄港地フォーラムinおかやま」が、今回初めて中国の大連、洛陽市を招いて開催されたのを機に、大連副市長が来岡され、ゆかりの深い当館をたつての希望で訪問下さいました。

中国・遼寧大学で嘉平太展開催



上写真:橋本佳憲ANA瀋陽支店長による挨拶

右写真:同展会場風景



10月30日から11月5日の7日間にわたり中国遼寧省の遼寧大学日本研究所において「岡崎嘉平太展」がANA瀋陽支店様ご尽力のもと開催されました。岡崎氏の生い立ちや日中国交正常化への功績等を記した写真パネルが多数展示され当館も資料提供等でご協力致しました。開幕式典には在瀋陽日本国総領事館の石塚英樹総領事をはじめ多くの来賓が来られたそうです。平成29年は岡崎氏が2代目社長をつとめたANAが日中定期路線に参入してから30周年であり岡崎氏生誕120周年であることから、中国での同展が企画されました。以後中国国内のANA支店や教育機関でも巡回されるそうです。

周恩来総理生誕120年を祝した中国淮安訪問団に当館館長が参加

平成29年10月27日(金)から30日(月)まで、勝野館長が、山本雅則吉備中央町長、等と共に、中国淮安市を訪問しました。吉備中央町は、岡崎嘉平太氏と周恩来総理の縁で淮安市と友好提携協定を結び、相互交流を続けています。この度は、周恩来総理生誕120年を記念して淮安市の招聘で訪問しました。写真は淮安市の周恩来記念館の前です。



授業に来てくれました 行きました



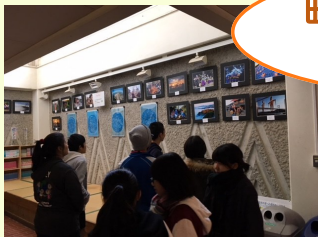
↑ 完成作品と共に
→ 水墨画授業風景



吉備中央町内の主に小学校4年生の児童や先生方が総合学習で岡崎嘉平太記念館に来館しました。学芸員による紙芝居や、館内説明、クイズなどで学習し約1時間程滞在。当館では郷土の誇りである岡崎氏について子供達にしっかり伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。

記念館から程近い吉備高原小学校の要請で、当館職員が6年生児童に水墨画の授業をしました。今回が3回目となります。水墨画を通して中国から伝承した文化や技法に興味を持ってもらえたらと思います。

町内でとりあげて いただきました



平成29年11月17日(金)から28日(火)まで国立吉備青少年自然の家において、ASEAN加盟国中学生招聘交流事業が行われるのに際し、当館主催の「第11回嘉平太が愛したふるさと岡山写真展」から数枚が展示され、岡山の風景や四季をミャンマーなどの子供達に紹介しました。

平成29年12月10日(日)に、ロマン高原かよう総合会館多目的ホールで吉備中央町図書館主催の「～時空を超えて 古代中国へ～」と題して行われた朗読会で、岡崎氏と周恩来総理の写真が紹介されました。また吉備中央町図書館でも岡崎氏生誕120周年を記念して、岡崎氏に関するミニ展示企画が行われました。

「嘉あちゃんの部屋」で竹細工展開催



11月12日(日)から30日(木)まで岡崎嘉平太記念館「嘉あちゃんの部屋」にて「高杉さんの竹細工展」を開催しました。岡山県吉備中央町円城にお住まいの高杉龍美さんが竹を用いて制作された、昆虫や花の作品を紹介。可愛くも本物と見間違えうばかりの精巧な造りの竹細工に多くの来場者が見入っておられました。「嘉あちゃんの部屋」は主に町内の団体及び住民などによるコミュニティづくりや地域振興などの活動の利用により、学習の場、憩いの場、ふれあいあいの場、作品発表の場を提供、支援するための施設でどなたでもお気軽にご利用できます。

嘉あちゃんの部屋 新春ミニ企画展

「茅野さんと藤井さんの 細川流 盆石展」

平成30年1月6日(土)～31日(水)

吉備中央町下竹地区にお住まいの茅野智江子さんと藤井順子さんが制作された「盆石」を展示します。盆石とはお盆の上に石や砂で山水等の風景を描いたものです。新春にあわせておめでたい図柄も取り入れておられます。

平成29年度 吉備中央町図画展

平成30年1月13日(土)～22日(月)

県の児童生徒絵画展町審査会(小学生)及び赤磐ブロック審査会(中学生)で佳作以上の賞を受賞した、町内の児童・生徒及び幼稚園児の優れた作品を展示します。

新年1月から3月の催し

第10回 嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

平成30年2月23日(金)～3月4日(日)

吉備中央町内全小学校の主に6年生の作品を一堂に展示。小学校最後の思い出に制作した力作の数々を展示します。

第12回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展

作品募集中! 応募締切:平成30年3月2日(金)

展示期間:4月16日(月)～6月18日(月) 岡崎嘉平太記念館

応募された全作品を展示。また7月には岡山市の 天神山文化プラザでも展示します。



編集・発行: 岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

HP <http://www.okazaki-kaheita.jp>

Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp

2018年1月発行

OKAZAKI KAHEITA MEMORIAL HALL